

【ATC フィロソフィ②④】

こんにちは、アークテックコム株式会社で、技術書類の作成と翻訳を行っています豊原 信です。

Tel : 050-6864-6201

Fax : 050-6864-6202

E-mail :

m.toyohara@arcteccom.jp

地道な努力

今月はアメリカのトランプ大統領の就任演説と弊社のフィロソフィ（考え方）についてお話しします。

2024 年度の世界の実質 GDP の約 24%を売上げるトップの国のリーダーから学ぼうと、就任演説を読込んでみました。非常に多くの項目を改善改革する内容になっていましたが、それらの考え方の骨子となると思われる言葉を見つけました。revolution of common sense という語彙です。

世界中の国々や人々が、自分に都合の良い合法的な考え方を持って、富める国に蛭のように取り付いている感じがします。もし、実現できると、エゴが少なくなり国家間や民族間の貿易戦争や争いはかなり少なくなると思います。

また彼は、呂新吾の著書『呻吟語』で言えば、第

二等のリーダーの資質で「磊落らいらくごうゆう英雄」ですかね。剛直で明敏、積極的で行動力があり、国を愛し、時局を憂い。時には物議を醸し出すこともあるが、改革を推進する力を持つ。

ついでに、第一等は、寛厚かんこうで思慮深く、遠い未来を見据えた判断ができる人物。人々に知られずに善政を行い、自然と人々を幸福に導く。

第三等は、頭が切れて弁が立つが、時局に追随しがちで、旧来の方法に頼ることが多い。革新的な政治を行うことが難しい。

これからの4年間、世界はどの様に変化するか楽しみですね。特に抽象的で捉えどころが難しかった、脱炭素系の考え方は資本主義の定義に沿うような軌道修正が行われることを期待します。

弊社のフィロソフィ（考え方）の続きです。

地道な努力を積み重ねる

大きな夢や願望を持つことは大切なことです。しかし、大きな目標を掲げても、日々の仕事の中では、一見地道で単純と思われるようなことをしなければならぬものです。したがって、ときには「自分の夢と現実の間には大きな隔りがある」と感じて思い悩むことがあるかもしれません。

しかし、どのような分野であっても、素晴らしい成果を見出すまでには、改良・改善への取り組み、基礎的な実験やデータの収集、足を使った受注活動などの地道な努力の繰り返しが必要で

す。

偉大なことは最初からできるのではなく、地道な努力の一步一步の積み重ねがあってはじめてできるということです。

人生においてひとつの仕事を成し遂げようとした場合、ジェット機のように簡単に目的地に着ける便利な乗り物はないのです。地道な一步一步を積み重ねていくしかありません。

しかし、地道な仕事を繰り返しているうちに、周りに考え方に共感した人達が集まってきます。その人達にもひとつひとつ地道な仕事をやってもらう。1人がやれる仕事というのはたかが知れていますが、大勢が一致団結して取り組むことによって、またそれを続けていくことで、やがては偉大なことを成すことができると言われていきます。

日々の創意工夫が会社を伸ばす

そうは言うものの、地道な仕事を毎日毎日繰り返していると、飽きてだんだん嫌になってきます。そこで、嫌にならないためのコツで

あり、同時に、地道な努力を加速させていく方法があります。それは「創意工夫をする」ということです。

創意工夫と言えれば難しく聞こえますけれども、それは、今日よりは明日、明日よりは明後日と、必ず改良改善を加えていくということです。同じ石を積むにしても、荷車で運んでいく積む方法もあれば、何人かでリレー形式で運んでいく積む方法もあるというふうに、いろいろなやり方を考えるのです。今日はこんな方法でやってみる。明日はさらに能率のいい方法を考えていく。そういうことを連綿と続けていくことが必要なのです。

創意工夫をしながらやっていると、たとえ地道で単純な作業であっても、昨日よりは今日と少しずつ向上していきますから、仕事の面白味も変わっていきます。結果として、このことは、仕事に飽きないようにするための工夫にとどまらず、やがては大きな飛躍をもたらしてくれるのです。

※2025年03月号に続きます。

応援メッセージです。

清掃の意義

清掃は大切なことです。そこに価値を見出して自分自身の価値創造に努める人はまだ少数派ですが、いらっしゃいます。以前の昭和の時代に比べると、町の中が随分と綺麗に成ったと感じませんか。特に駅等の公共施設の周辺には、ゴミはなくとても綺麗です。

清掃をするということは、清掃の対象に命を吹き込むことという考え方があります。例えば、ホールの床を、小児がポテトチップスを落としても、拾って食べられるくらいに磨き上げることが必要です。とてもそこまでは出来そうにないと、自分の心に壁を作ってはいけません。これはディズニーの「そうじの神様が教えてくれたこと」にもあります。お客様や従業員が安心して楽しんだり、仕事をしたりするための環境を創造する作業なのです。そうエンターテイナーなのです。

完璧に清掃をすると、その先には必ず、お客様や従業員の感動や感謝が待ち受

けています。この感動や感謝が自分自身の価値創造に繋がっていきます。自分を伸ばすエネルギーになります。

「一隅を照らす」という素晴らしい言葉があります。人目に付かないような場所を、心を込めて清掃をし、全体がピカピカと美しく輝く状態に繋げて行きます。

身近な場所や会社の中にあるもので、ホコリがたまってしまって、命が無いような状態になっているものを清掃することで命を吹き込みましょう。

よく使われて、汚れてしまったものを一生懸命に綺麗にしてあげる。『よく働いてくれたね。綺麗にしてあげる。』と思いを込め、感謝しながら清掃しましょう。その感謝の念が、ものに移り込む。そうするとものが生き生きとし、再び活躍してくれるようになります。

また、他人から感動や感謝を頂くと、それが動機づけになり、自ら心も身体も清掃し、整理整頓をすると心が広がり余裕が生まれます。健康であるように心掛

ける。そうすると、生き生きといつまでも活躍できます。

素晴らしい寺社仏閣は、とても古いのに、くたびれたという感じが無く、厳かであるのは、清掃が適切になされているからです。

しっかり掃除をすれば、自分自身も会社も生き生きとし、厳かさまで醸し出されるますよ。

豊原 信